

平成31年度施政方針について

松野久郎



く検証・改善サイクルを確立させることで、成果につなげていきたい。

〔質問〕平成31年度を「教育改革元年」と位置づけ、さまざまな施策を展開するとあるが、平成30年度の取り組みから転換した理由と平成31年度に取り組む施策の効果・成果を伺う。

〔質問〕地域の発展と人材の育成に寄与するため、包括的な連携・協力に関して仙台大学との協定締結を提案するが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】仙台大学との連携は、本市のスポーツ振興や青少年の育成に多大な影響を与えるものであり、大変有効と考える。

〔質問〕【市長】仙台大学との連携は、本市のスポーツ振興や青少年の育成に多大な影響を与えるものであり、大変有効と考える。

健康福祉分野でも専門的で幅広い知見を有しており、市政運営の面からも重要であると考えられることから、今後、協定の締結について検討していきたい。

〔質問〕これまで「オーダーメイド方式」を提唱していた企業誘致について、その方針を変えるのか伺う。

〔質問〕これまで「オーダーメイド方式」を提唱していた企業誘致について、その方針を変えるのか伺う。

〔答弁〕【市長】これまで4つの工業団地を整備し完売しているが、団地造成の適地がなかったことから、できる限りオーダーメイド方式で対応してきた。

現在、スマートーOCの整備・検討を進めているが、その価値を最大限活用できるように検討し、適地と条件が整えば、オーダーメイド方式にこだわらず工業団地の造成に着手できると考えている。

〔質問〕「人・農地プラン」の今後の取り組みについて伺う。

〔答弁〕【市長】今後、さらなる農地集約に関する話し合いの場を各地区で行い、担い手の農地集約を推進していく。

【その他の質問】

◎いじめの防止等に関する条例の制定について

◎中学校統合最終の準備状況と中学校跡地の利用方法について

施政方針について

伊藤勝美



について。

〔質問〕平成31年度の予算編成をするに当たり、市民の暮らしや本市の地域経済の現状をどのように把握されているのか。

〔答弁〕【市長】全体的な経済の好況が続いていることを反映し、企業の業績も前年並を見込んで予算編成している。本市の経済はやや上向きであると思われるが、これは大規模な事業所の業績により本市の経済を押し上げているものである。

また、雇用においては有効求人倍率が1.40となっており、今なお人手不足が続いている現状である。

〔質問〕財政状況及び市政課題をどのように認識されているのか。

〔答弁〕【市長】自主財源に乏しく、地方交付税や国庫支出金等への依存が高い財政構造にあり、依然として収支不足の状況にある。

このため財政調整基金の取り崩しが続いており、基金残高が年々減少している。

多くの市政課題は人口減少に起因しており、人口減少抑制対策が市政運営における最重要課題であると考ええる。

〔質問〕「平成31年度は効率的かつ効果的に水道施設を管理運営するため、アセットマネジメント計画を策定し、持続可能な水道事業の構築に努め、自己水源の活用による広域水道受水費の削減に取り組む」としているが、具体的にどのような取り組みをするのか。

〔答弁〕【市長】本市では特に管路の老朽化が著しいため、中・長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体を効率的にし、今後の財政収支と照らし合わせ、必要な更新費用に対するの検討を行い、計画を策定していく考えである。

また、広域水道受水費は、水道水の供給に要する費用の中でも大きな割合を占めているため、本市の良質な自己水源を活用して、広域水道からの受水を減らすことによる受水費削減も検討している。

【その他の質問】

◎児童虐待防止について